

未知の課題に挑戦する
探究学習の充実

自分で考え
自分の言葉で表現し、
対話や協働を通じて
納得解を生み出す

「学びの本質を変える」探究メソッド

探究学習とは、答えのない問いに向き合い、自らの可能性に気付く学びである。目的は、自らの課題を見付け、粘り強く課題を探究し、協働しながら新しい解を創造していく資質能力を育てることにある。



探究学習で育てる能力



探究学習とは、自ら課題を発見し、解決するためのプロセスを体験しながらスキルを習得していくことであり、自己の在り方、生き方を考えながら物事の本質を探り見極めることで**実社会に通用するような資質・能力を育てる学習**のこと。

- 1 探究学習とは、問題解決的な活動を**発展的に繰り返す**一連の学習活動。
- 2 目的は、資質・能力の育成。
- 3 調べ学習は、探究の中にある一つのプロセスとも考えられる。
- 4 探究活動を、学びの型(フレームワーク)を習得する機会として捉える。

探究学習の特徴



学校HP
QRコード

探究学習は、児童の自発的な疑問から始まる。児童が生活の中で「なに」「なぜ」「どうやって」など疑問を持つことから始まり、疑問を解き明かそうとする学習である。疑問を解き明かすためには、「**課題の設定**」→「**情報の収集**」→「**整理・分析**」→「**まとめ・表現**」→「**振り返り**」→「**新たな課題の設定**」という**サイクルを繰り返す**ことになる。

探究サイクル



発展的に繰り返す

課題設定

[入口の簡単さ]
気軽に思える簡単な問い
[解釈の多様性]
懐の広さがある問い
[深掘りの可能性]
追求できる深さがある問い

情報収集

[思考ツール]
チャート・マップ etc
[図書館・ICT活用]
アナログとデジタル
[フィールドワーク]
調査・研究・実験・観察

整理分析

- ・問題状況における事実や関係を把握し理解する。
- ・多様な情報の中にある特徴を見付ける。
- ・**事象を比較、関連付け**して思考、課題解決する。

振り返り

[言語化による内面化]
学びの成果を体感
[観点を決めて対話]
事実、変化、比較、理由、抽出

探究学習のポイント

- ① 「問い」を自ら立てているかどうか
最大のポイント。調べ学習は既に課題が設定されているが、探究学習は**自ら疑問に思ったことを「問い」にし、それに対する「仮説」を立てるという部分が不可欠**である。
- ② 探究の「スキル」をきちんと教えているか
探究学習は、問題解決のプロセスである。基礎的なノウハウやスキルはきちんと教える。それらの**スキルを身に付けることが資質・能力を向上させることにつながる**。
- ③ 図書館の活用方法を学び、図書館をフルに活用しているか
学校の中で一番情報が豊富で、書き方や表現方法なども詰まっている「**図書館**」の活用方法を学び、**図書館という場をフルに活用した「情報の収集」**を行う。
- ④ デジタルとアナログを、うまくバランス取りながら活用しているか
自分の頭で考える前に安易にネット検索に依存すると、作業プロセスの思考過程が飛ばされ、思考力の向上を妨げることになる。整理分析、まとめの段階でも同様。
- ⑤ 学習活動に「フィールドワーク」を取り入れているか
フィールドワークとは現地・現場での調査・研究のこと。「課題の設定」「情報の収集」の場面においても教室から外に出て、**実際に目で見て実態に即した情報を集める**。



ポートフォリオ評価

○どのような活動をしたか ○その活動をするときに、どんな疑問をもったか ○その活動を通して、どのようなことを解決しようと思ったか ○どんなことをどうやって調べたか ○調べてわかったことは何か ○さらに調べたくなったことは何か ○さらに調べてわかったことは何か ○調べたことから、どんなことを考えたか ○みんなに聞いてもらいたい事は何か